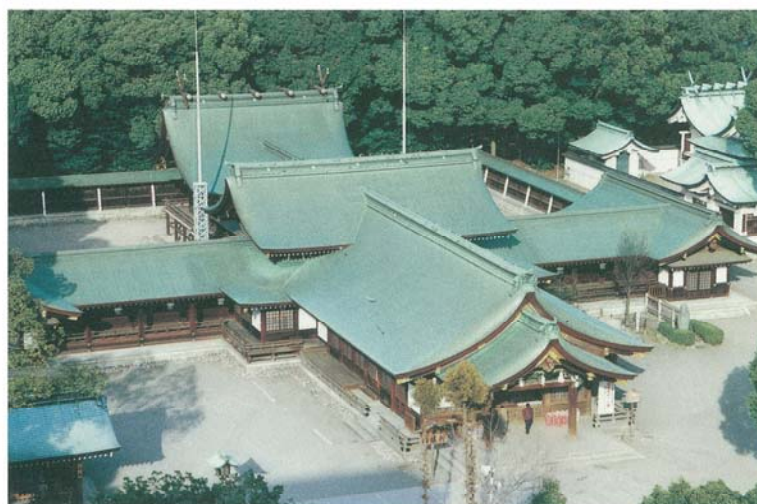


# 中小企業景況調査報告書

平成25年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Masumida Shrine

一宮市観光協会提供

## 目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり  
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	25
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	6
合 計	48

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析  
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
  2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比  
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
  2. 前 期 比  
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
  2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
 

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

# 今 期 の 概 況

景況は緩やかに回復しつつある。

## 1. 前年同期比 DI 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、従業員の各 DI 値で、前期実績(H25.7~9 月期)を上回り、資金繰りの DI 値で、前期実績と横ばい、採算の DI 値で、前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算の各 DI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員の DI 値で、今期実績を下回る見通し。

### 指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲20.0 から▲15.0 (5.0 ポイント増) となり、来期は▲14.0 (1.0 ポイント増) となる見通し。
- 売上 DI 値は、前期実績▲14.0 から▲3.0 (11.0 ポイント増) となり、来期は 2.0 (5.0 ポイント増) となる見通し。
- 採算 DI 値は、前期実績▲16.0 から▲23.0 (7.0 ポイント減) となり、来期は▲18.0 (5.0 ポイント増) となる見通し。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲1.0 と同様、横ばいとなり、来期は▲4.0 (3.0 ポイント減) となる見通し。
- 従業員 DI 値は、前期実績▲1.0 から 0.0 (1.0 ポイント増) となり、来期は▲7.0 (7.0 ポイント減) となる見通し。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、業況、売上、資金繰りの DI 値で、前期実績を上回り、採算、従業員の DI 値で、前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、採算の DI 値で、今期実績を上回り、資金繰り、従業員の DI 値で、今期実績を下回る見通し。

## 2. 前期比 DI 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況の DI 値で、前期実績を上回り、売上、資金繰りの DI 値で、前期実績を下回った。

### 指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲3.0 から▲2.0 (1.0 ポイント増) となった。
- 売上 DI 値は、前期実績 4.0 から 3.0 (1.0 ポイント減) となった。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲2.0 から▲3.0 (1.0 ポイント減) となった。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、資金繰りの DI 値で、前期実績を上回り、業況の DI 値で横ばい、売上の DI 値で、下回った。

## 3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(46 件、28 事業所)に比べ件数・事業所数とも減少している。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 32 件(22 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12 件、『OA 機器』8 件、『車両・運搬具』4 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 42 件(19 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』18 件、『OA 機器』12 件、『車両・運搬具』5 件となっている。

## 4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『製品等単価の低下・上昇難』、『需要の停滞』、『仕入単価(原材料価格)の上昇』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A 社（建設業）

全国的には公共工事が増加している。当地区の工事物件はさほど多くなく売上は伸び悩み傾向であるが、工事管理者は不足している。リフォーム部門では増税前の駆け込み需要が若干見られる。

## B 社（製造業〈燃糸〉）

業況は横ばいで、仕事がある時とない時の差が激しい。円安だが国内回帰は進まず小ロットでの受注が多い。原材料、燃料の高騰に加え、最低賃金が改正され人件費もあがっている中、電気代も来年4月から値上げとなるため利益がさらに圧迫される。

## C 社（製造業〈織物〉）

受注量、生産量とも前年並みに推移している。早期の寒波の到来や消費税増税前の駆け込み需要などをプラス材料として市況が好転することを期待している。原料価格が高値で推移しており、加えて円安で仕入価格は上昇しているが、売値に転嫁することは困難で利益を圧迫している。

## D 社（製造業〈染色〉）

売上が減少している。後継者を育成するため、従業員を過剰に抱えているものの、技術の承継は難しく思うように育成できていない。油剤、資材は中国より輸入しているが規制が厳しくなっている。為替により価格も変動するので、今後の便乗値上げが心配。

## E 社（製造業〈染色〉）

来月の売上予想もたたない状況。染料、薬品、重油の値段が高騰しているだけでなく、電気代も来年4月から値上げとなることから、利益が更に圧迫されることが予想される。

## F 社（製造業〈縫製〉）

為替の変動、社会情勢の不安などから国内生産が見直されつつあるが、小売単価が上がらない現状では、取引先の条件に対し、応えていくだけの体力がない。また、経費の増額分をうまく加工賃に転嫁できていない。

## G 社（製造業〈自動車部品加工〉）

今年後半から生産数量は8~10%多くなっており、休日出勤しながら対応しているが、近い将来、海外で現地調達することが決定している部品もあり、長期的な見通しは分からない。また、来年4月より電気料金の値上げがあり、その対応に苦慮している。

## H 社（卸売業）

当社の取引先である喫茶店の過剰サービスに加え、経営者の高齢化と店舗の老朽化が重なり、消費税増税後廃業する店舗も出てくると思われる。

## I 社（サービス業）

アベノミクス効果が見られる。来年4月からの増税前に値上げを完了したい。値上げもただ上げるのではなく、お客様に理解してもらいやすいように工夫していきたい。

## 景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	H25. 7～9月	今 期 H25. 10～12月	来期の見通し H26. 1～3月
業 況	▲36.0	▲33.0	▲23.0	▲20.0	▲15.0	▲14.0
売 上	▲33.0	▲37.0	▲17.0	▲14.0	▲ 3.0	2.0
採 算	▲32.0	▲32.0	▲22.0	▲16.0	▲23.0	▲18.0
資金繰り	▲12.0	▲ 9.0	▲ 5.0	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 4.0
従 業 員	▲ 7.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 1.0	0.0	▲ 7.0

## 景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	H25. 7～9月	今 期 H25. 10～12月	来期の見通し H26. 1～3月
業 況	▲47.9	▲45.8	▲31.3	▲35.4	▲25.0	▲18.8
売 上	▲41.7	▲45.8	▲18.8	▲16.7	▲ 2.1	0.0
採 算	▲50.0	▲47.9	▲33.3	▲29.2	▲43.8	▲29.2
資金繰り	▲20.8	▲12.5	▲ 2.1	▲ 8.3	▲ 6.3	▲ 8.3
従 業 員	▲ 8.3	▲14.6	▲12.5	▲ 2.1	▲ 6.3	▲ 8.3

## 業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3
-----

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (1)	7 (6)	2 (0)	0 (2)	2 (1)	12 (10)	▲ 15.0  (▲14.0)
	不変	5 (5)	35 (40)	10 (13)	7 (4)	4 (4)	61 (66)	
	悪化	1 (1)	19 (15)	1 (0)	3 (4)	3 (4)	27 (24)	
売上	増加	1 (1)	19 (16)	2 (1)	2 (4)	3 (3)	27 (25)	▲ 3.0  (2.0)
	不変	5 (5)	25 (32)	7 (9)	3 (2)	3 (4)	43 (52)	
	減少	1 (1)	17 (13)	4 (3)	5 (4)	3 (2)	30 (23)	
採算	好転	1 (1)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	12 (9)	▲ 23.0  (▲18.0)
	不変	5 (6)	31 (39)	9 (8)	5 (6)	3 (5)	53 (64)	
	悪化	1 (0)	26 (18)	2 (3)	4 (3)	2 (3)	35 (27)	
資金繰り	好転	2 (1)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (1)	6 (4)	▲ 1.0  (▲4.0)
	不変	5 (6)	54 (55)	13 (12)	8 (8)	7 (7)	87 (88)	
	悪化	0 (0)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	0 (1)	7 (8)	
従業員	増加	1 (0)	11 (6)	1 (0)	1 (1)	2 (3)	16 (10)	0.0  (▲7.0)
	不変	4 (5)	41 (45)	11 (12)	7 (6)	5 (5)	68 (73)	
	減少	2 (2)	9 (10)	1 (1)	2 (3)	2 (1)	16 (17)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

## 新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4
-----

設備投資	今期	実施した ※1	22	来期	計画している ※2	19
	(事業所数)	実施していない	78	(事業所数)	計画していない	71

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	1 件	5. 付帯施設	3 件	3 件
2. 工場建物	3 件	1 件	6. O A 機器	8 件	12 件
3. 生産設備	12 件	18 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	4 件	5 件	8. その他	1 件	1 件
複数回答可			合計	32 件	42 件

# 業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	25	8	3	6	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (1)	4 (3)	▲ 25.0  (▲18.8)
	不変	2 (5)	18 (19)	4 (6)	2 (1)	2 (2)	28 (33)	
	悪化	2 (1)	7 (6)	4 (2)	0 (0)	3 (3)	16 (12)	
売上	増加	3 (2)	6 (4)	1 (0)	1 (2)	2 (3)	13 (11)	▲ 2.1  (0.0)
	不変	2 (3)	12 (16)	4 (6)	2 (1)	1 (0)	21 (26)	
	減少	1 (1)	7 (5)	3 (2)	0 (0)	3 (3)	14 (11)	
採算	好転	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	3 (3)	▲ 43.8  (▲29.2)
	不変	2 (4)	13 (16)	2 (4)	1 (1)	2 (3)	20 (28)	
	悪化	3 (1)	11 (9)	5 (4)	1 (0)	4 (3)	24 (17)	
資金繰り	好転	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	▲ 6.3  (▲8.3)
	不変	5 (5)	24 (25)	7 (7)	3 (3)	4 (4)	43 (44)	
	悪化	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	4 (4)	
従業員	増加	0 (0)	2 (2)	0 (0)	1 (2)	2 (1)	5 (5)	▲ 6.3  (▲8.3)
	不変	5 (5)	17 (17)	8 (7)	2 (1)	3 (4)	35 (34)	
	減少	1 (1)	6 (6)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (9)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	12	来期	計画している ※2	15
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	33

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	2 件	0 件	6. O A 機器	3 件	5 件
3. 生産設備	7 件	12 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	1 件	8. その他	0 件	0 件
複数回答可			合計	15 件	19 件

# 景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H24.10～12月	H25.1～3月	H25.4～6月	H25.7～9月	今 期 H25.10～12月
業 況	▲25.0	▲28.0	▲ 8.0	▲ 3.0	▲ 2.0
売 上	▲14.0	▲43.0	13.0	4.0	3.0
資金繰り	▲15.0	▲ 7.0	▲ 1.0	▲ 2.0	▲ 3.0

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	2	10	2	0	3	17	▲ 2.0
	不 変	5	35	11	9	4	64	
	悪 化	0	16	0	1	2	19	
売 上	増 加	2	16	4	3	3	28	3.0
	不 変	5	26	7	5	4	47	
	減 少	0	19	2	2	2	25	
資 金 繰 り	好 転	1	3	0	0	1	5	▲ 3.0
	不 変	6	53	13	8	7	87	
	悪 化	0	5	0	2	1	8	



# 景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H24. 10～12月	H25. 1～3月	H25. 4～6月	H25. 7～9月	今 期 H25. 10～12月
業 況	▲43.8	▲41.7	▲16.7	▲16.7	▲16.7
売 上	▲35.4	▲50.0	12.5	▲ 2.1	▲12.5
資金繰り	▲18.8	▲ 6.3	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 6.3

# 業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	25	8	3	6	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2	2	0	1	1	6	▲ 16.7
	不 変	3	16	5	2	2	28	
	悪 化	1	7	3	0	3	14	
売 上	増 加	2	5	0	2	2	11	▲ 12.5
	不 変	3	9	5	1	2	20	
	減 少	1	11	3	0	2	17	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 6.3
	不 変	5	22	7	3	4	41	
	悪 化	1	1	1	0	2	5	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○従業員の確保難	○民間需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の 上昇	○製品(加工)単価 の低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○生産設備の不足 ・老朽化 ○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○製品ニーズの変 化への対応	○原材料価格の上昇 ○人件費の増加
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下 ・上昇難
小売業	○販売単価の低下・ 上昇難	○需要の停滞	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化
サービス業	○材料等仕入単価 の上昇	○利用ニーズの変 化への対応	○利用料金の低下 ・上昇難 ○従業員の確保難

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	10
下請単価の上昇	3
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	2
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	4
民間需要の停滞	7
その他	0
合 計	36

### 繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	33
生産設備の不足・老朽化	11
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	53
原材料の不足	3
人件費の増加	14
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	42
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	12
需要の停滞	56
その他 (需要の不安定さ)	1
合 計	256

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	10
生産設備の不足・老朽化	13
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	9
原材料の不足	1
人件費の増加	9
原材料費・人件費以外の経費の増加	4
製品(加工)単価の低下・上昇難	13
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	6
その他	0
合 計	66

### 卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	7
商品在庫の過剰	3
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	9
仕入単価の上昇	15
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	16
その他	0
合 計	59

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 小 売 業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	6
同業者の進出	3
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	3
店舗の狭隘・老朽化	5
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	2
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	4
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	1
需要の停滞	7
その他 (・インターネット販売への拡大 ・消費税増税による需要の一時増加と反動)	2
合 計	47

### サ ー ビ ス 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	7
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	5
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	6
材料等仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	5
その他	0
合 計	49

※ 1位 … … 3 ポ イ ン ト  
 2位 … … 2 ポ イ ン ト  
 3位 … … 1 ポ イ ン ト

### 景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

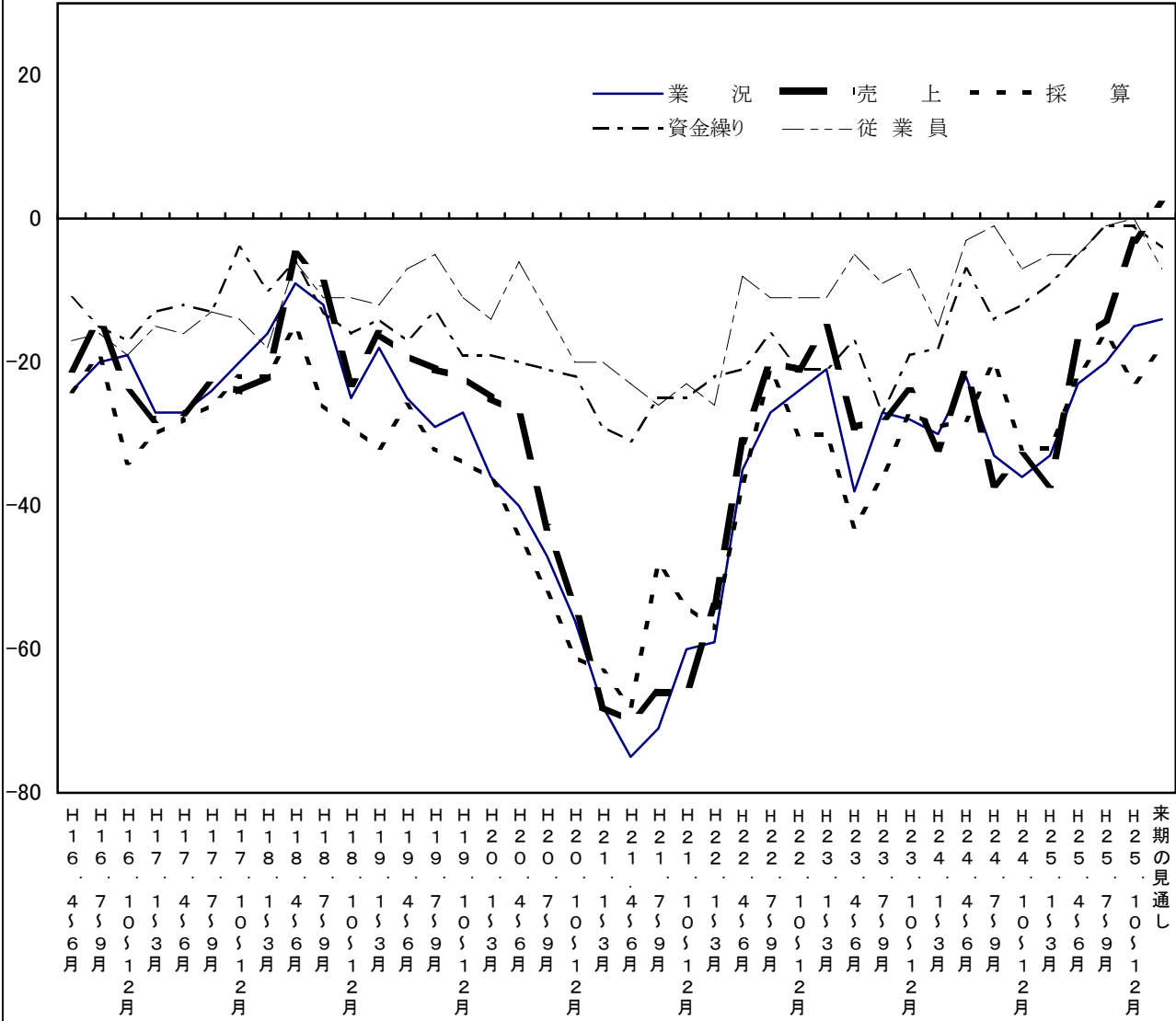




図 4

採 算 DI 一前年同期比一

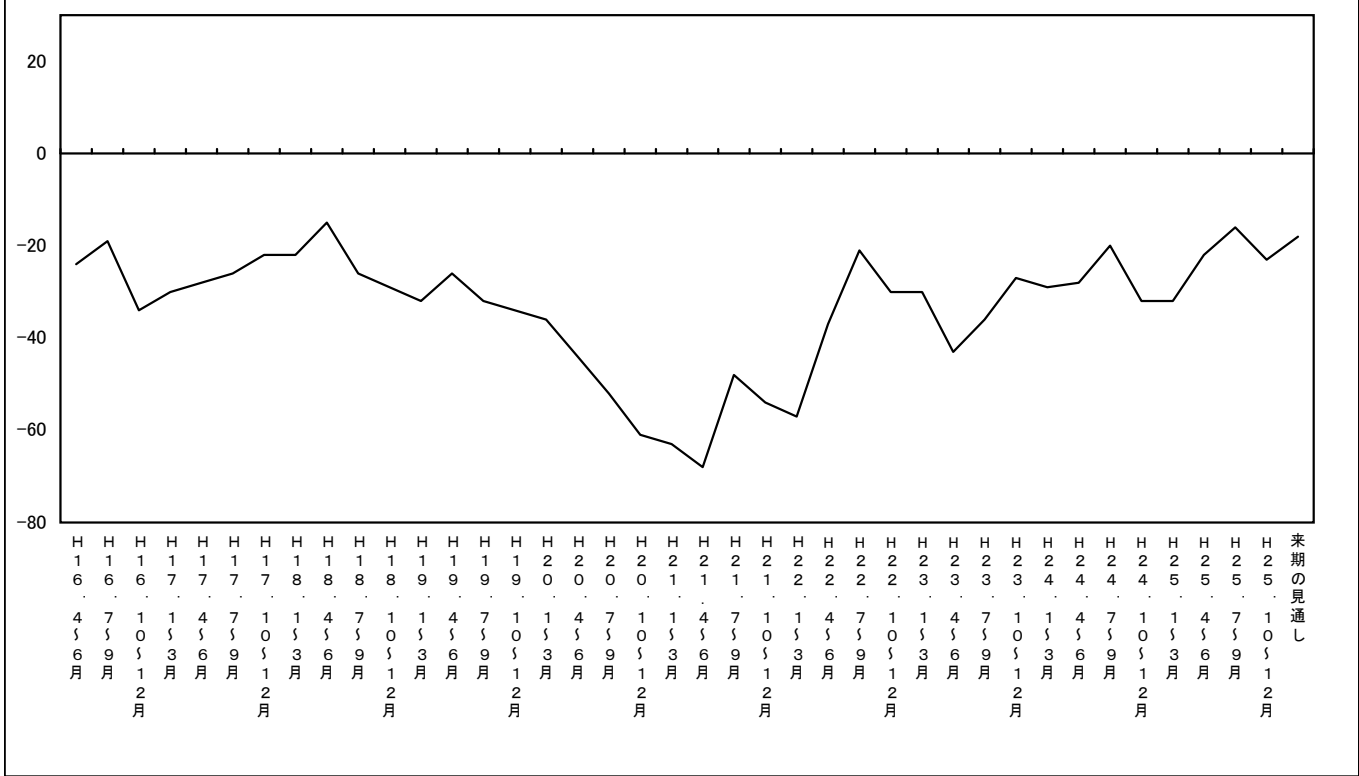
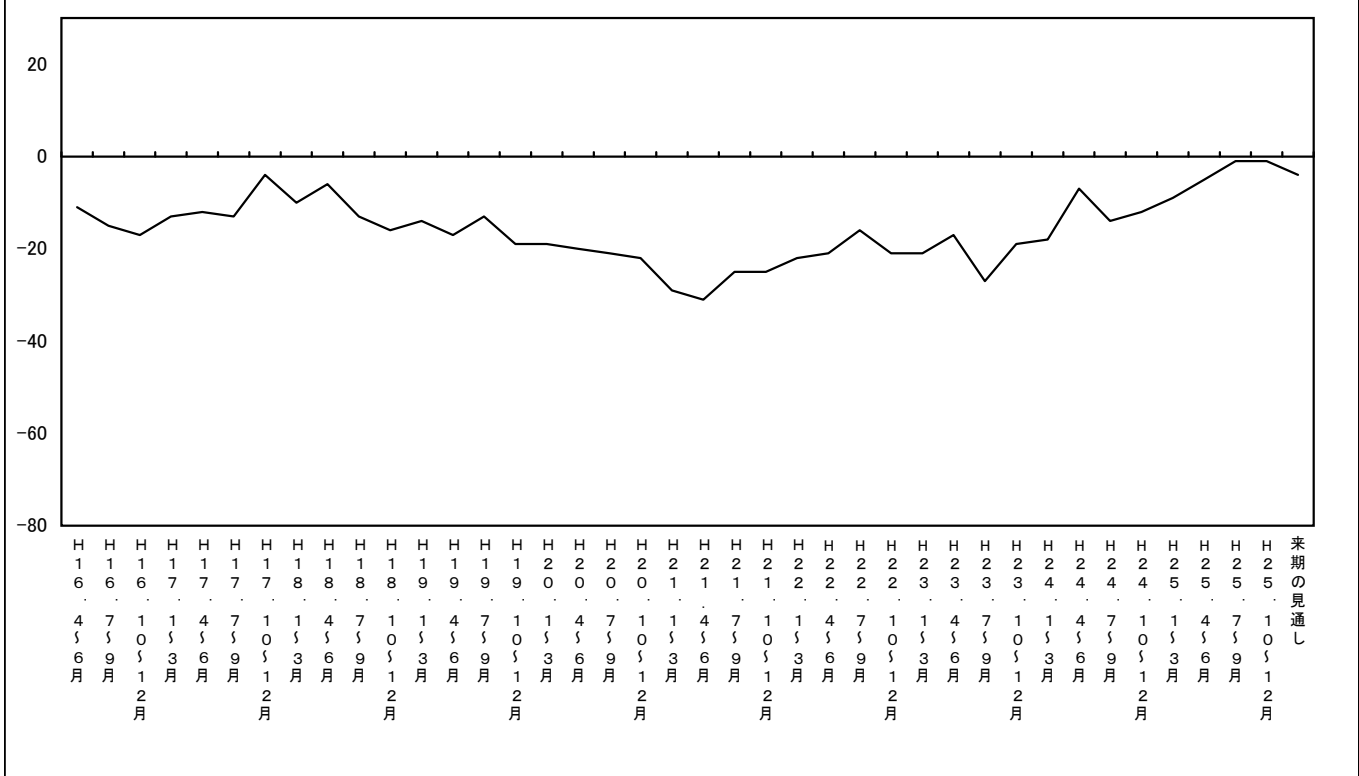


図 5

資金繰り DI 一前年同期比一









一宮商工会議所  
中小企業相談所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)